

# オーロラⅡ (トルコ投資ファンド)

## 運用報告書(全体版)

第28期（決算日2024年7月11日）

作成対象期間（2023年7月12日～2024年7月11日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
当ファンドは運用開始以来、「オーロラⅡ」を構成するファンドとして永らくご愛顧いただきましたが、償還事務の都合上、2023年3月31日に信託期間を延長する約款変更が行なわれ、2024年10月1日まで延長した上で信託期間満了を迎えます。  
なお、「オーロラⅡ（東欧投資ファンド）」については、2023年3月31日に信託期間を延長する約款変更を行ない、信託期間終了日は2027年7月12日となりましたので、ご留意下さい。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	1996年9月12日から2024年10月1日までです。
運用方針	信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行ないます。
主な投資対象	トルコの企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益等から基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行ないます。

### 野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

**0120-753104**（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
		税金配分	配分金	騰落率	騰落率				
24期(2020年7月13日)	円 7,624	円 0	% △ 7.8	% △ 4.7	% 95.3	% -	% -	百万円 1,400	
25期(2021年7月12日)	8,336	0	9.3	△ 1.8	91.8	-	-	970	
26期(2022年7月11日)	8,964	0	7.5	9.7	90.9	-	-	877	
27期(2023年7月11日)	14,755	240	67.3	76.6	95.0	-	-	1,054	
28期(2024年7月11日)	25,513	1,200	81.0	55.5	95.0	-	-	1,177	

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 参考指数はBIST100指数（円換算ベース）です。
* 参考指数（=BIST100指数（円換算ベース））は、BIST100指数（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。
算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日のトルコリラ為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

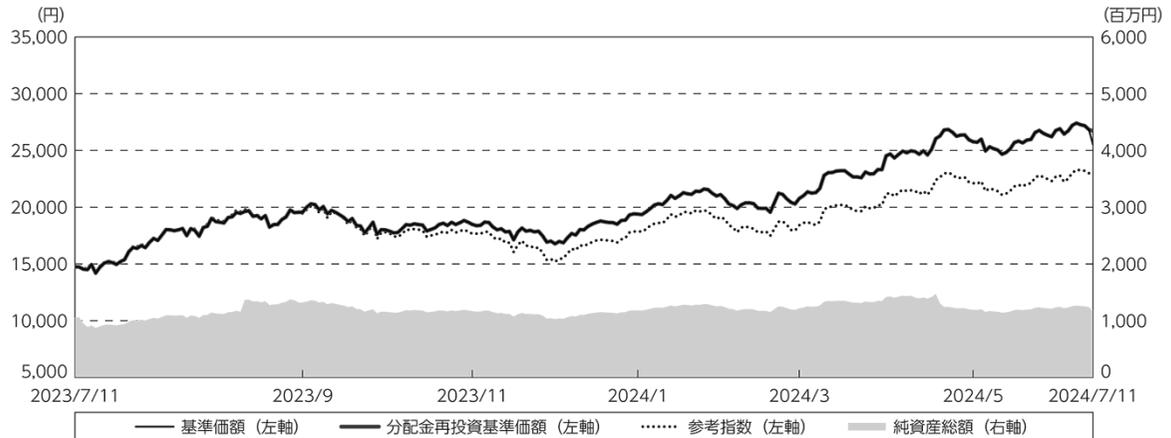
年月日	基準価額	参考指数		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	騰落率			
(期首) 2023年7月11日	円 14,755	% -	% -	% 95.0	% -	% -
7月末	16,081	9.0	8.9	95.2	-	-
8月末	18,674	26.6	27.6	95.6	-	-
9月末	19,562	32.6	31.8	93.8	-	-
10月末	17,889	21.2	20.0	93.0	-	-
11月末	18,487	25.3	19.7	95.2	-	-
12月末	16,983	15.1	4.6	94.2	-	-
2024年1月末	19,393	31.4	21.2	93.9	-	-
2月末	20,995	42.3	28.6	94.7	-	-
3月末	20,767	40.7	24.8	94.4	-	-
4月末	24,531	66.3	43.4	94.9	-	-
5月末	25,773	74.7	50.0	97.5	-	-
6月末	26,764	81.4	53.8	95.4	-	-
(期末) 2024年7月11日	26,713	81.0	55.5	95.0	-	-

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期首：14,755円

期末：25,513円（既払分配金（税込み）：1,200円）

騰落率：81.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2023年7月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、BIST100指数（円換算ベース）です。参考指数は、作成期首（2023年7月11日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

- (上昇) トルコがスウェーデンのNATO（北大西洋条約機構）加盟の支持に転じたこと、大手企業の堅調な決算発表が好感されたこと、金融政策の正常化を背景に外国人投資家が市場に戻るとの期待が高まったこと
- (下落) 中東地域の地政学的リスク拡大への懸念が強まったこと、トルコ・リラが対円で下落したこと
- (上昇) 大手格付会社がトルコの格付け見通しを引き上げたこと、エルドアン大統領が引き締めの金融政策の継続を容認する姿勢を示したこと、トルコ・リラが対円で上昇したこと

## ○投資環境

トルコ株式市場は、期初、トルコがスウェーデンのNATO加盟の支持に転じたことで欧米諸国との外交的摩擦が減り、トルコを巡る地政学的リスクの低下につながるとの期待などから上昇して始まりました。その後も大手企業の堅調な決算発表や、大手格付会社が銀行セクターの見通しを引き上げたこと、エネルギー企業による特別配当の発表も好感され、続伸しました。また、金融政策の正常化を背景に、外国人投資家が市場に戻るとの期待も株価上昇につながりました。

2023年10月にはエルドアン大統領がガザ地区へ空爆を行なうイスラエルを批判し、予定していた同国訪問を取りやめたことで、両国の関係悪化を含む中東地域の地政学的リスク拡大への懸念が強まり、下落に転じました。加えて、政策金利の大幅な引き上げによる企業業績への直接的な悪影響や国内の個人投資家の資金が株式から預金商品へ流出する可能性も懸念され下落基調で推移しました。

2024年に入ると、大手格付会社がトルコの格付け見通しを引き上げたことや外国人投資家からの資金流入が加速したことなどを好感し、上昇しました。また、トルコがスウェーデンのNATO加盟を承認し、見返りに米国政府がトルコへの戦闘機の売却を決定したことは欧米との関係改善を示す好材料となりました。2月には、2023年6月に就任した中央銀行総裁が家庭の事情で退任し、後任として米金融機関などでのエコノミスト経歴があった副総裁が任命されましたが、引き締め的な金融政策が継承されるとの観測を受けて、総裁交代による株式市場への影響は軽微に留まりました。その後、野党が勝利した3月末の統一地方選後にエルドアン大統領が引き締め的な金融政策の継続を容認する姿勢を示したことも好感され、続伸しました。5月以降も、食品のディスカウント店を運営している小売り株やソフトドリンクの製造・販売を行なう飲料株、アパレル株の堅調な決算を受け、国内消費の底堅さが好感されたことなどから期末にかけて上昇基調で推移しました。当期において株式市場は、現地通貨ベースで大幅上昇となりました。

為替市場では、インフレ率の加速とそれに伴って、中央銀行による大幅な利上げ後もインフレ率を考慮した実質金利が大幅なマイナスとなっていたことなどからトルコ・リラは2024年3月までに対米ドルや対円で下落しました。中央銀行が金利据え置きとの市場予想に対して政策金利を5%引き上げ、50%にした3月以降には、対米ドルで下落ペースが減速し、安定的に推移しました。一方、日銀が緩和的な金融政策を維持する見通しを示したことで円安が進行したため、トルコ・リラは対円で上昇に転じましたが、当期においてトルコ・リラは対米ドルや対円で下落しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

原則として高位を維持するという運用方針に基づいて運用を行ない、組入比率はおおむね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

- (1) 業種配分では、期初においては、一般消費財・サービス、生活必需品などをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）とし、素材、コミュニケーション・サービスなどをアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。期末においては、生活必需品、IT（情報技術）などをオーバーウェイトとし、素材、コミュニケーション・サービスなどをアンダーウェイトとしました。
- (2) 個別銘柄では、トルコ航空（旅客航空輸送）、BIMビシュレジッキ・マーザラージ（生活必需品流通・小売り）、コカコーラ・アイスセック（飲料）などを上位に組み入れました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数（BIST100指数（円換算ベース））が55.5%の上昇となったのに対して、基準価額は81.0%の上昇となりました。

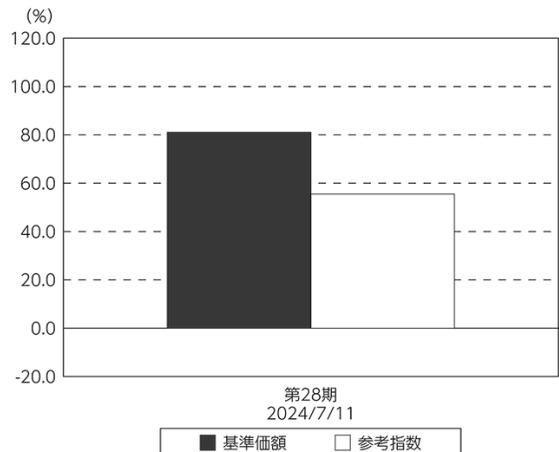
### （主なプラス要因）

- ①業種配分で、株価騰落率が参考指数を下回った素材をアンダーウェイトとしたこと
- ②個別銘柄で、株価騰落率が参考指数を上回った飲料株をオーバーウェイトとしたことや、株価騰落率が参考指数を下回った化学株をアンダーウェイトとしたこと

### （主なマイナス要因）

- ①業種配分で、株価騰落率が参考指数を上回ったコミュニケーション・サービスをアンダーウェイトとしたこと
- ②個別銘柄で、株価騰落率が参考指数を下回った自動車株をオーバーウェイトとしたことや、株価騰落率が参考指数を上回った無線通信サービス株をアンダーウェイトとしたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、BIST100指数（円換算ベース）です。

## ◎分配金

今期の収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり1,200円とさせていただきます。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第28期
	2023年7月12日～ 2024年7月11日
当期分配金	1,200
（対基準価額比率）	4.492%
当期の収益	1,200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	20,738

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### ・投資環境

- (1) トルコ経済については、足元のインフレ率の加速にもかかわらず、3月の想定外の利上げ以降、トルコ・リラは安定的に推移しています。そのため輸入物価によるインフレ率の上昇圧力が弱まっており、2024年後半のインフレ率減速への確信度が高まっています。金融政策の引き締めを受けて国内の経済活動には減速の兆候が表れていますが、インフレ率が減速した場合には家計消費や景気全般も急回復するとみています。一方、エルドアン大統領が従来と異なり中央銀行の高金利政策を容認する姿勢を示しているものの、インフレ率が減速に転じた時点で早期利下げを求めるリスクには注意が必要です。
- (2) トルコ株式市場については、名目金利の上昇によって国内の個人投資家が株式投資より預金を選好する動きが強まり、売り圧力につながるリスクに引き続き注意します。また、トルコ・リラの安定が続けば、それまで通貨安の恩恵を受けた多くの輸出企業は収益成長率の減速を避けられず、輸出株のバリュエーション（投資価値評価）が低下するリスクもあります。一方、金融政策の正常化が評価され、金融株を中心に外国からの投資資金流入が強まる可能性も考えられます。

### ・投資方針

業種配分では、安定した業績の改善が見込まれる生活必需品を引き続きオーバーウェイトとする方針です。

個別銘柄については、競争力のあるビジネスモデルや独自の成長要因を有し、中長期的に比較的安定した収益の成長が見込まれる銘柄に選別的に投資する考えです。

当ファンドは2024年10月1日に信託の終了日（償還日）を迎える予定です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年7月12日～2024年7月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 455	% 2.222	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(219)	(1.067)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(214)	(1.045)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 23)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	7	0.035	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 7)	(0.035)	
(c) そ の 他 費 用	58	0.283	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 57)	(0.279)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	520	2.540	
期中の平均基準価額は、20,491円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

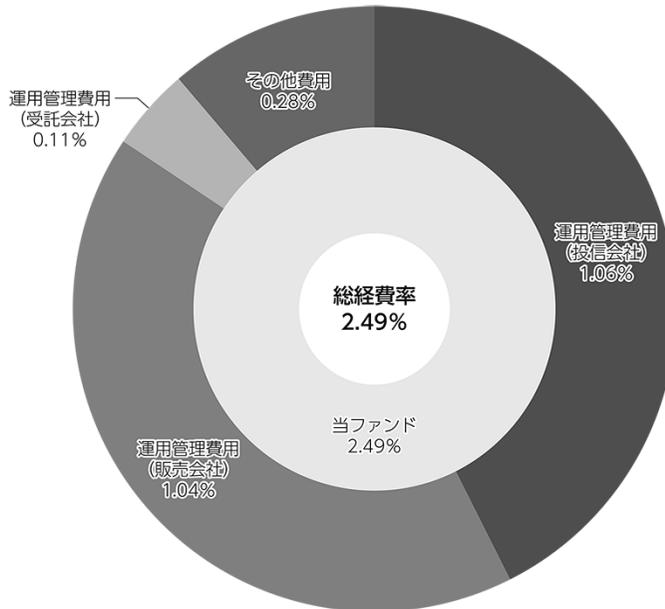
\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.49%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年7月12日～2024年7月11日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	トルコ	百株 12,535 (14,491)	千トルコリラ 46,248 ( - )	百株 26,326	千トルコリラ 161,134

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\*（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2023年7月12日～2024年7月11日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,056,123千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,129,388千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.93

\*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年7月12日～2024年7月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2024年7月11日現在）

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(トルコ)	百株	百株	千トルコリラ	千円	
AKBANK T. A. S	2,775	2,421	15,498	76,281	銀行
AKSA AKRILIK KIMYA SANAYII	206	109	1,536	7,563	繊維・アパレル・贅沢品
AKSIGORTA	—	2,585	1,879	9,250	保険
ALARKO HOLDING	431	—	—	—	コングロマリット
AELSAN ELEKTRONIK SANAYI	410	439	2,857	14,062	航空宇宙・防衛
BRISA BRIDGESTONE SABANCI LASTIK SAN VE	653	—	—	—	自動車用部品
CIMSA CIMENTO SANAYI VE TIC	245	730	2,514	12,374	建設資材
EREGLI DEMIR VE CELIK FABRIK	1,670	492	2,707	13,328	金属・鉱業
FORD OTOMOTIVE SANAYI AS	198	118	12,317	60,624	自動車
INDEKS BILGISAYAR SIS TEMLERI MUHENDISLI	2,152	5,801	4,612	22,701	電子装置・機器・部品
KOC HLDGS	854	770	17,308	85,191	コングロマリット
KORDSA TEKNİK TEKSTİL A. S.	202	—	—	—	自動車用部品
LOGO YAZILIM SANAYI VE TICAR	597	526	5,451	26,833	ソフトウェア
TURK SISE VE CAM FABRIKALARI AS	2,497	252	1,251	6,160	コングロマリット
TURK HAVA YOLLARI AO	1,217	862	26,276	129,330	旅客航空輸送
TURK TRAKTOR VE ZIRAAT MAKIN	78	—	—	—	機械
TURKIYE GARANTI BANKASI	801	512	6,321	31,113	銀行
TURKIYE IS BANKASI AS-C	4,148	8,195	12,957	63,775	銀行
TUPRAS-TURKIYE PETROL RAFINE	1,413	921	15,479	76,187	石油・ガス・消耗燃料
YAPI VE KREDI BANKASI A. S.	4,109	4,476	13,607	66,975	銀行
HACI OMER SABANCI HOLDING	1,374	1,006	10,169	50,053	銀行
COCA-COLA ICECEK AS	559	259	21,462	105,634	飲料
BİM BİRLEŞİK MAGAZALAR AS	674	428	23,249	114,429	生活必需品流通・小売り
VESTEL BEYAZ EŞYA SANAYI VE	1,305	—	—	—	家庭用耐久財
TAV HAVALIMANLARI HOLDING AS	379	331	9,144	45,007	運送インフラ
KOZA ALTIN İŞLETMELERİ AS	961	—	—	—	金属・鉱業
LOKMAN HEKİM ENGÜRUSAG SAGLI	687	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
MİGROS TİCARET A. S	—	111	6,175	30,394	生活必需品流通・小売り
MAVİ GİYİM SANAYI VE TİCA-B	726	892	11,491	56,561	繊維・アパレル・贅沢品
AGESA HAYAT VE EMEKLİLİK AS	475	262	2,863	14,096	保険
合計	株数	金額	株数	金額	
	31,810	32,510	227,134	1,117,933	
	銘柄数 <比率>	28	23	—	<95.0%>

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

（2024年7月11日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 1,117,933	% 89.7
コール・ローン等、その他	129,031	10.3
投資信託財産総額	1,246,964	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建純資産（1,158,007千円）の投資信託財産総額（1,246,964千円）に対する比率は92.9%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=161.73円、1トルコリラ=4.9219円、1ユーロ=175.20円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年7月11日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,246,964,656
コール・ローン等	104,339,858
株式(評価額)	1,117,933,550
未収入金	24,691,041
未収利息	207
(B) 負債	69,729,587
未払収益分配金	55,371,113
未払解約金	515,585
未払信託報酬	13,822,423
その他未払費用	20,466
(C) 純資産総額(A-B)	1,177,235,069
元本	461,425,947
次期繰越損益金	715,809,122
(D) 受益権総口数	461,425,947口
1万口当たり基準価額(C/D)	25,513円

(注) 期首元本額は714,548,137円、期中追加設定元本額は127,452,649円、期中一部解約元本額は380,574,839円、1口当たり純資産額は2,5513円です。

○損益の状況（2023年7月12日～2024年7月11日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	33,208,713
受取配当金	30,843,302
受取利息	2,369,282
支払利息	△ 3,871
(B) 有価証券売買損益	512,414,811
売買益	774,870,109
売買損	△262,455,298
(C) 信託報酬等	△ 30,012,786
(D) 当期損益金(A+B+C)	515,610,738
(E) 前期繰越損益金	103,824,443
(F) 追加信託差損益金	151,745,054
(配当等相当額)	( 392,887,484)
(売買損益相当額)	(△241,142,430)
(G) 計(D+E+F)	771,180,235
(H) 収益分配金	△ 55,371,113
次期繰越損益金(G+H)	715,809,122
追加信託差損益金	151,745,054
(配当等相当額)	( 392,887,484)
(売買損益相当額)	(△241,142,430)
分配準備積立金	564,064,068

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2023年7月12日～2024年7月11日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年7月12日～ 2024年7月11日
a. 配当等収益(経費控除後)	31,380,934円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	484,229,804円
c. 信託約款に定める収益調整金	392,887,484円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	103,824,443円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,012,322,665円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	21,938円
g. 分配金	55,371,113円
h. 分配金(1万口当たり)	1,200円

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	1,200円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する必要の約款変更を行ないました。

＜変更適用日：2024年7月4日＞